



---

<目次>

- I 今月のトピックス 「消滅可能性都市」
- II 県内取組事例紹介
  - 【県】 医療整備課、防犯・交通安全課、少子政策課
  - 【市町村】 和光市、ときがわ町
- III 私の選んだこの一冊  
「事例でわかる 公務員のためのクレーム対応マニュアル実践編」
- IV 平成26年度政策研究の取組紹介
  - 1 第2・第3回行政課題連続セミナーを開催
  - 2 「政策課題共同研究」活動報告
- V 平成25年度政策課題共同研究報告書発行
- VI 政策情報ライブラリーのご案内

---

I 今月のトピックス

「消滅可能性都市」

全国市区町村の約半数が「消滅する可能性」を指摘し、多くの人々に衝撃を与えた増田レポート。

自治体が消滅しないためには、「地域内で人々や家族が幸せに暮らしている姿」や「快適な生活やライフスタイルの実現」を内外の住民に提示し、積極的にPRする必要があります。

詳細は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/02/H26/117/topics.pdf>

---

II 県内取組事例紹介

- 【 県 】 大人の救急電話相談  
防犯・交通安全アプリを配信  
保育士就職応援冊子を作成

【市 町】（和光市）わこう版ネウボラを開始  
（ときがわ町）新しい観光ガイドブックが完成

詳細は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/02/H26/117/jirei.pdf>

皆さまからの情報提供お待ちしております。

=====

### Ⅲ 私の選んだこの一冊

「事例でわかる 公務員のためのクレーム対応マニュアル実践編」

（関根 健夫 著／ぎょうせい）

本書は、月刊誌「ガバナンス」（ぎょうせい）に連載されていたクレーム対応術のコーナーを一冊にまとめたものである。内容は、基礎編と実践編に分かれており、基礎編ではクレーム対応の考え方・心構えなどを、実践編では、さまざまな現場で想定されるクレームについて、シチュエーション別に会話形式の事例を添えて、その対応術が解説されている。

詳細は

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/02/H26/117/issatu.pdf>

=====

### Ⅳ 平成26年度政策研究の取組紹介

#### 1 第2・第3回行政課題連続セミナーを開催

現在、全国の地域においては、高齢者や子育て支援、地域活性化、観光振興や協働のまちづくり等、様々な社会的課題の解決の必要性に迫られています。今年度の「行政課題連続セミナー」では、多様な主体の協働により、社会的地域課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャルビジネス（SB）」について研究し、政策形成に反映させることを目的としております。

第2回行政課題連続セミナーでは、「シニアの地域貢献を支援するソーシャルビジネス」と題しまして、有限会社アリア代表取締役である松本すみ子氏をお招きし、増加する高齢者が社会的課題を解決する事業や地域産業の担い手として活躍できる環境づくりに貢献しているSBについて考察しました。

第3回行政課題連続セミナーでは、「女性の就業を支援するソーシャルビジネス」と題しまして、株式会社キャリア・ママ代表取締役である堤香苗氏をお招きし、女性のキャリアを生かしつつ新しい働き方を提案しているSBについて研究しました。

◆第2回行政課題連続セミナーの詳細は↓

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/09/H26/houkoku02.pdf>

◆第3回行政課題連続セミナーの詳細は↓

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/09/H26/houkoku03.pdf>

◆次回予告

次回の第4回行政課題連続セミナーは、Issue+design（イシュー+デザイン）の箕 裕介氏をお招きし、「ソーシャルデザイン～地域を幸せにするデザインビジネスの秘訣～」についてご講演をいただきます。

日時：平成26年11月19日（水） 13時～15時05分

会場：自治人材開発センター 3階 講堂

## 2 「政策課題共同研究」活動報告

今回は、9月12日（金）に研究活動の中間報告の場として開催した『「産民学官」共同政策研究ブラッシュアップセミナー』の様をお伝えします。

セミナー前半のプログラムでは、これまでに研究会のフィールドワーク（事例視察）でお世話になった企業から、各社で取り組んでいるデータ活用事業やブランドプロモーション事業について発表を行っていただきました。

セミナー後半のプログラムでは、研究会の両チームから、現時点における研究の方向性を示した研究コンセプトの報告、それを受けての会場参加者との意見交換会（ブラッシュアップ・セッション）が行われました。

◆当日の記録は下記URLをご覧ください。

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/kyodokenkyu/H26kyodokenkyu/H26tyukanhoukokukai.pdf>

=====

## V 平成25年度政策課題共同研究報告書発行

当広域連合では、県や市町村が直面している政策課題について、広域連合構成団体（県、市町村）職員等が共同で調査研究を行っています。

平成25年度は、下記2テーマについて研究し、報告書をまとめました。

- ・観光資源としての農業の可能性～久喜市をフィールドにして～
- ・自治体FM戦略～公共施設管理の最適化に向けて～

報告書及び報告書の概要版は、彩の国さいたま人づくり広域連合のホームページ

ジにおいて掲載しております。

また、製本された報告書につきましては、1冊500円で提供しております。入手方法につきましては直接お問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。

報告書の入手方法については↓

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/hanpu.htm>

平成25年度政策課題共同研究の報告書については↓

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/01/top.htm>

=====  
**VI 政策情報ライブラリーのご案内**

11月から自治人材センター2階にある休憩室に「政策情報ライブラリーコーナー」を設けました。政策研究担当からオススメの本や政策情報誌「Think-ing」など蔵書の一部を閲覧できます。研修合間の休憩の際にでもご利用いただければ幸いです。

蔵書の閲覧・貸出は、構成団体職員の方ならどなたでもできます。

詳しいご案内、蔵書一覧は↓

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/82network/02/Library.htm>

=====  
**★☆☆ eシンキングについて ★☆☆**

eシンキングは、四半期に1度のペースで配信いたします。なお、「政策情報ライブラリー新着図書」のご案内につきましては、当広域連合のホームページ（政策研究担当トップページ）において毎月お知らせいたします。

**★☆☆ご意見・掲載希望★☆☆**

今月号のeシンキングはいかがでしたか？ご意見・ご感想がありましたら下記担当までお寄せください。また、各コーナーでは皆様からの参加レポートなどの情報提供を随時募集しています。「これは記事になるかな？」というものがあれば、お気軽にご連絡ください。

**★☆☆配信停止について★☆☆**

配信停止をご希望の場合は、発行元である彩の国さいたま人づくり広域連合までご連絡ください。

=====  
発行元

彩の国さいたま人づくり広域連合 政策管理部（古川・川崎）

〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-1

TEL:048-664-6685 FAX:048-664-6667

WebPage: <http://www.hitozukuri.or.jp>

E-Mail: [jinzai03@hitozukuri.or.jp](mailto:jinzai03@hitozukuri.or.jp)

=====